

教授 登場

田中 優希さん



田中優希先生のご専門は会計学。財務会計の立場から環境情報開示の経済効果を中心に研究を進めておられます。大学院の博士課程を終えて4年目という若さですが、お話しには関連性が溢れ、とても「さぼけた」感じの先生です。学生教育への熱意をひしひしと感じました。(小倉・高橋)

経済学部准教授

まな分析点から研究を進めているところ。学生は電卓と赤ペンが必須

また企業自身にどのような経済的効果を与えるかを研究しています。例えば、環境報告書を開示する効果を株主資本コストという経営指標を使って検証してみると、環境報告書を開示している企業、しかも継続的に開示している企業ほど、そうでない企業からしつかり理解して卒業してほしいので、きめ細かく指導しています。簿記は手書きで覚えることが大事ですから、学生は電卓と赤ペン持参です。試験も手書きにこだわっています。

法政大学に赴任したのは2013年です。それまでフルタイムの社会人経験がないのがちょっと私のコンプレックスですね。授業は簿記入門と国際会計制度を担当しています。「簿記入門」は一年生の受講が多いですね。簿記はどこでも役に立つ知識ですからしつかり理解して卒業してほしいので、きめ細かく指導しています。簿記は手書きで覚えることが大事ですから、学生は電卓と赤ペン持参です。試験も手書きにこだわっています。

諫早湾の干拓が私の原体験

小学校の5年生から高校まで長崎県の諫早湾に面した高来町で過ごしました。海辺でムツゴロウを取ったり山で遊んだり腕白な子供でした。中学生のころ89年から始まった諫早湾の干拓事業が本格化し、潮受堤防の水門が締め切られ海がほとんど干上がっていき光景に衝撃を受け、夏休みの自由研究で諫早湾について調べたのです。それが環境問題に関心を持った初めの出来事でした。

ESGへの配慮が企業価値を高める

授業は電卓・赤ペン必修 「簿記」は手で書いて覚える

環境会計の研究者の道を選びました。環境情報開示は企業の価値を高めるか

私の専門エリアは財務会計で、現在は、企業が環境報告書など、ESG(環境・社会・ガバナンス)情報を開示することが投資家や社会にどのように役立ち、

環境会計の研究者の道を選びました。環境情報開示は企業の価値を高めるか

環境会計の研究者の道を選びました。環境情報開示は企業の価値を高めるか



「国際会計制度」は難しい科目かもしれません。授業では、現在日本で行われている、日本基準、米国会計基準、国際会計基準(IFRS)という三つの会計基準の特徴を説明し、それを踏まえて、財務諸表分析の基礎を教えますが、受講生が少ないうえ、6人にグループ分けしてゼミのスタイルで和気藹々と勉強しています。この科目では、各基準を丸暗記するより、その背景にある企業観や経済発展の差異などを理解してほしいですね。ゼミは企業分析をテーマに掲げていますので、学生もそれを目標に入ってきて

【略歴】2007年一橋大学商学部卒、11年同大学大学院商学研究科博士後期課程修了。同研究科特任講師を経て、13年法政大学経済学部准教授。論文に「温室効果ガス排出量の自主的開示と株主資本コスト」などがある。

《通教支部だより》

一人一人の出会い

93年経済学部商業学科卒 平川 忠勝

私は去年から、千葉県「みまぜんか」の一言から茂原市長寿会の地区長と長寿会の存在を知ったので活動しています。毎がきっかけです。いろいろな活動があり、出来るも月一回の運営委員会では、活動があり、出来るもいろいろな重要事項を決め、その企業に向いて自分たちの仮説を確かめに行くグループもいますよ。また、ゼミとは別に、学生同士が得意な分野を教え合うシェア・ゼミを開いています。1年次に「コンピュータ入門」を抽籤漏れで受講できなかった新入生にパソコンの得意な学生がワード、エクセル、パワーポイントを教えるなどして、皆でレベル向上に努めています。

事務局 早苗さん、ありがとうございます！



事務局 早苗さん、ありがとうございます！

大浦さん、下浦さんが新事務局員に

6月から新しい事務局員として、大浦幸子さん(写真左)、下浦三重子さん(写真右)が勤務しています。出勤日は火・水・金曜日です。

若手会員の近況報告

就活も臨機応変に

国際経済学科4年 佐藤聖人

私は現在、就職活動の真っ最中。就活の準備を進めています。就活の準備を進めています。就活の準備を進めています。



私は現在、就職活動の真っ最中。就活の準備を進めています。就活の準備を進めています。就活の準備を進めています。

第6回 経済学部学生ディベート大会開催

菅(富)ゼミがV2



「裁判員制度の廃止」を論題に、4回にわたって論戦を繰り広げました。この大会で特徴的なことは、ディベート終了後の審査員の講評。レベルが向上しているとの評価がある一方、立論や反論面での弱点の指摘があったこと。毎回参加して思うのは、ディベート大会は学生にとって自主的研究の場になっているが学部の教育の場にもなっているとの実感だ。同窓会は大大会の後援者として、運営面での学生会へから決勝まで「アジアイン」の協力、審査員としての参加、賞金の贈呈などで支援を行った。(馬鳥)

活動報告 2015.5~8月

- 5. 7 第6回事業部会
- 12 総務部会
- 13 教授会執行部との懇談会
- 14 第140回代表幹事会
- 21 第121回常任幹事会
- 23 第41回散策の会 [芝浦運河エリア]
- 24 広報部会
- 6. 6 2015年度定期総会・森嘉兵衛 賞授与式・経済学部オレソジの集い
- 6.13 社会学部同窓会総会
- 6.14 広報部会

- 6.16 第3回大人の社会見学(国立天文台三鷹)
- 6.20 学生ディベート大会
- 6.27 第8回グレードアップ講座
- 6.29 校友会総会
- 7. 2 事業部会
- 7. 4 文学部同窓会総会
- 7. 9 第141回代表幹事会
- 7.19 経営学部同窓会総会
- 7.19 広報部会・会報レイアウト
- 7.25 平和祈念碑建立20周年記念集会
- 8. 1 法学部同窓会総会
- 5 広報部会・会報第1校正
- 12 " " 会報第2校正
- 12 " " 会報第3校正
- 15 " " 会報第4校正